

# SID R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第2巻第33号

第33週(8月12日～8月18日)

発行年月日:平成14年(2002年)8月23日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (33週)	累積報告数 (1週～33週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	8	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5	5
	エキノкокクス症	0	1	0
	急性ウイルス性肝炎	0	2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	1	3	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	3	6
レジオネラ症	0	0	1	

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	33週	増減	27週～32週
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0.31		0.68
A群溶連菌咽頭炎	0.06		0.52
感染性胃腸炎	0.88		1.69
水痘	0.44		1.49
手足口病	1.16		1.64
伝染性紅斑	0.06		0.32
突発性発疹	0.53		0.61
百日咳	0.03		0
風疹	0.03		0.01
ヘルパンギーナ	1.22		2.34
麻疹	0		0.03
流行性耳下腺炎	0.78		1.06
急性出血性結膜炎	0.57		0.02
流行性角結膜炎	1.71		0.38
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.43		1.31
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.36
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

\* 増減は、平成14年27週～32週の平均に対する今週との比較  
増加 減少 変化なし

\* 太字は、今週の注目される疾患です。  
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。  
(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)

### 3) 今週のトピックス

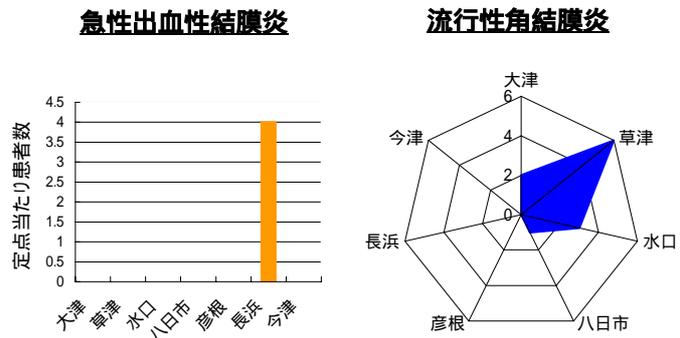
#### ヘルパンギーナの病原体情報

#### 急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎の発生に地域的な偏り

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年27週～32週の平均と平成14年の33週を比較すると、百日咳、風疹、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎に増加傾向がみられます。

**咽頭結膜熱**の定点当たり患者数は、先週に引き続き大津保健所および水口保健所管内で高くなっています。**ヘルパンギーナ**についても、先週に引き続き大津保健所管内で高くなっています。また、**急性出血性結膜炎**は、長浜保健所管内で高くなっています。

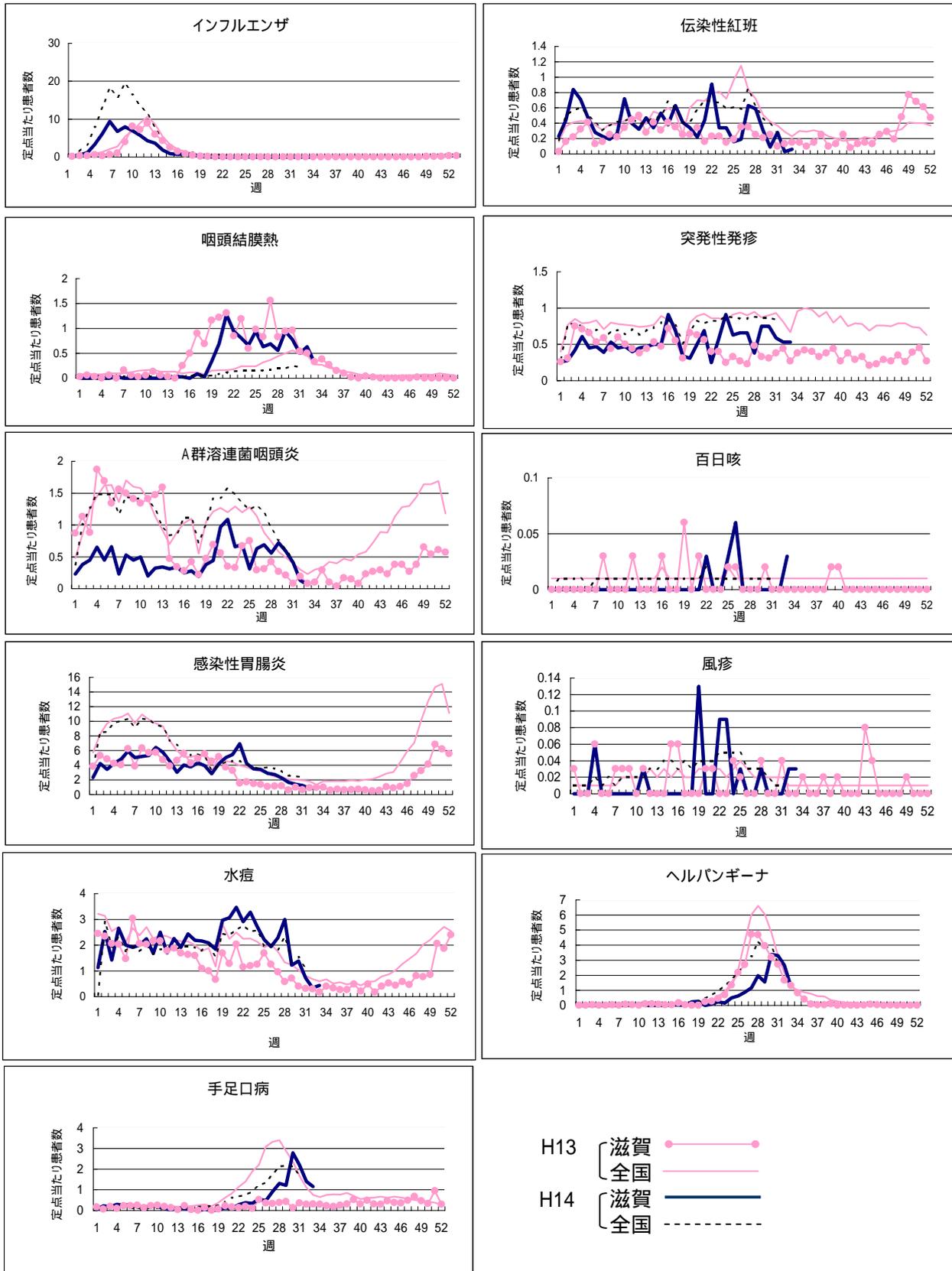
急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎の保健所別発生状況(定点当たり患者数)は下記のグラフのとおりです。



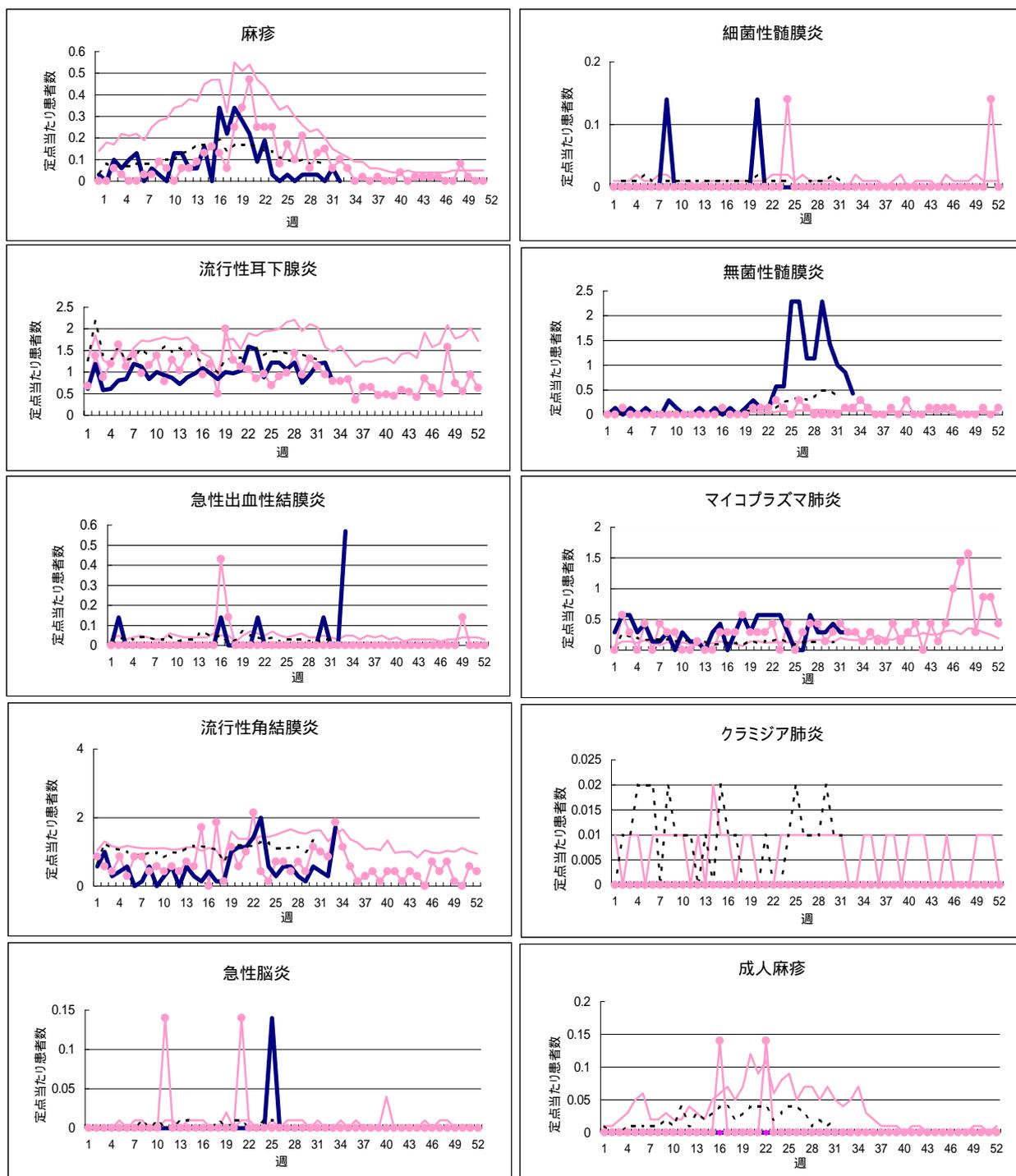
#### ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス

全国……A群コクサッキーウイルス 34件(4型、6型、5型、10型)  
B群コクサッキーウイルス 1件(4型)  
エコーウイルス 7件(13型、9型)  
< iDWR2002年第4巻第29号より >  
滋賀県……A群コクサッキーウイルス 1件(4型)  
B群コクサッキーウイルス 1件(2型)  
< ヘルパンギーナ患者からの6月採取分 >

## 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第33週)



## 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第33週)



H13 { 滋賀 ●——●  
       { 全国 ————  
 H14 { 滋賀 ●——●  
       { 全国 - - - - -